

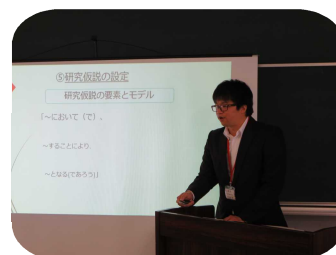
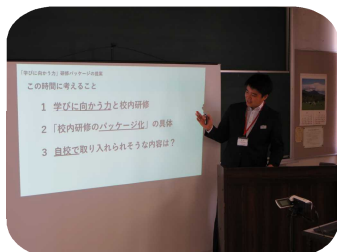
『初夏便り』 ～オンライン講座～

後志教育研修センター
所長 長谷川 誠

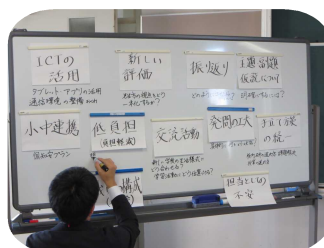


校内研修講座を皮切りに、今年度の研修講座がスタートしました。6月前半の講座はオンライン講座となり、当センターとしては初めての取組となりました。ICT担当所員である森拓実（西小学校）先生を中心に、調査研究主事である清水栄治（京極小学校）先生が一校内研修講座は調査研究事業とタイアップしての開催—5月から様々な準備をしての実施となりました。

講座は講師である2人の所員がそれぞれ「研究主題解決のための研究仮説や研究計画の立て方、まとめ方と次年度へのつなげ方」、「学びに向かう力研修パッケージの提案」の講義を行いました。高田響（銀山中学校）先生は所員として、初めて担当する講座ではありましたが、大変落ち着いていて、画面の向こう側にいる受講者に分かるように話をしておりました。続いての田口晴也（仁木小学校）先生は質の高い実践の提供もさることながら、話し方がとても聞き心地の良いプレゼンテーションでありました。



最後の笠原雄哉（岩内第二中学校）先生は、ベテランの味を出してくれました。「各校の校内研修の現状と課題の交流」というテーマで、受講者がフリップボードに記入した現状の悩みを一人一人に問いかけるように聞き出していました。すかさず、所員の二人がホワイトボードにまとめていく作業がなされ、このことによって、共有した話し合いが可能となりました。

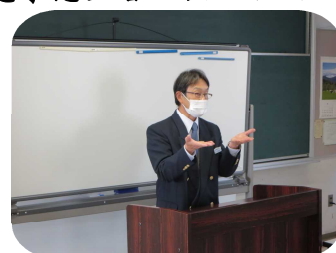


受講後に寄せられた受講者の声・アンケートです。

- 回線が弱いせいか、たびたび音声途切れてしまいましたが、思ったよりも鮮明に映像を見ることができました。
- できれば、対面の方が、タイムラグなく質疑応答できてありがたいです。しかし、zoomで実施して頂けただけ、有り難かったです。
- 半日日程でしたが、重要なポイントが聞けてとても勉強になりました。
- もう少し、参加者同士で交流できたらなと思いました。
- 講座後、いくつか質問をしたいことがありましたが、できず残念でした。

まとめますと、予想通り課題は残りますが、当初の想定よりも配信側と受講者の交流ができたものと捉えております。オンライン講座は緊急事態宣言が出されている期間となりますが、一定の成果はあるものだと思います。

宣言解除になりましたら、是非、センターに会って、お互いの目を見ながら研修したいものです。その時には、閉講式の中で、私は皆さんに『リーダの条件～求められる資質～』のお話をしよう準備を進めています。



(R3.6月)